

議会だより



中土佐町

No.54

令和元年 8 月 25 日 発行

6 月 定 例 会



■消防庁舎 8 億 2280 万円で契約 2

■町出資法人の経営状況報告 4

■9 人が一般質問 7

今回の主な内容

●令和元年 6 月定例会	
議案審議	2
主な議案と議員の賛否	6
一般質問	7
委員会活動報告	17
行政報告	18
●追跡・声	19
●議員の活動状況	20
●地域で頑張る移住者たち	22

ライダーズイン中土佐を管理する下野さん夫婦（P22参照）

6月定例会

案議
議審

消防庁舎建設工事
請負契約

名誉町民に奥谷博氏

美術館開館30周年式典で表彰

名誉町民の選定

「中土佐町名誉町民の選定について」は、本町の芸術文化の振興に貢献

された奥谷博氏（84歳、彰時）を名誉町民に選定するため、条例に基づき議会に同意を求められたものだ。

質疑、討論はなく、全会一致で同意した。

消防庁舎 8億2280万円で契約 完成は役場庁舎と同じ来年11月予定



造成工事が完了した高幡消防組合中土佐分署の建設地



高幡消防組合中土佐分署の完成予想図

令和元年6月定例会が、6月3日から11日までの9日間の日程で行われました。

開会日の3日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明が行われた後、画家の奥谷博氏を名誉町民とすることの審議が行われ、これに同意しました。この日はその他にも委員会の活動報告などが行われました。

6日と7日は一般質問（P7から関連記事）が行われ、9人の議員が町の課題を執行部に問いました。11日には議案の審議が行われ、町長提出の7件の専決処分を承認、議案15件を可決しました。また、陳情1件を採択、意見書1件を可決し閉会しました。

「高幡消防組合中土佐分署建設工事請負契約の締結について」は、10億5400万円が予算計上されていたが、入札の結果、ミタニ建設工業（株）と8億2280万円（消費税込み）で契約するものだ。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。



美術館開館30周年記念式典でのテープカット。左から3人目が奥谷氏（6月5日）

陳情1件を「採択」、意見書1件を「可決」

6月定例会の最終日に、川崎地区の住民の方から提出された斜面崩壊対策を求める陳情と、総務常任委員会から提出された「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の審議を行い、陳情を採択、意見書を可決としました。



6月定例会での「陳情」の採決

採択

川崎地区の斜面の崩壊対策を求める陳情

陳情の趣旨は、川崎地区の家屋は山の斜面に接しており、地区の住民は、大雨時には斜面がいつ崩れるか心配なため、安心して生活ができるよう対策を講じてほしいと14人の署名を添えて提出されたものだ。

産業建設委員会では、現地を視察し、地元の方からも現状をお伺いしたうえで審議した。川崎地区の斜面は急傾斜地崩壊事業の要件を満たしており、委員会としても危険性があると判断したことから「採択すべきもの」として全会一致で決定したとの報告があった。また、

執行部は、事業には個人の負担金も必要なことも理解をいただいたうえで事業を進め、再度、町内全域の危険箇所の現状把握に努め、必要な対策を講じてもらいたいという意見が付された。

これを受け、本会議で採決した結果、委員長の報告のとおり、全会一致で「採択」と決定した。



川崎地区で現地調査を行う産業建設常任委員

可決

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

昭和45年の「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、生活環境の整備や産業の振興など、一定の成果を上げてきたが、現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が来年度末に失効するため、国に対し、新たな過疎対策法が制定されるよう意見書を提出するものだ。

総務常任委員会から意見書（案）が提出され、本会議で採決した結果、全会一致で「可決」された。



財源に過疎債を充てて平成28年に建設された給食センター

過疎対策の特別措置法

過疎地域への財政上の特別措置が規定されている。この中に事業費に100%充当でき、元利償還金の70%が地方交付税でかえってくる地方債である過疎対策事業債の発行がある。

経営状況の報告

財政的支援を受けている法人等は、議会に経営状況

駅を運営する(株)SEAプロジェクト（町出資80%）
力月間（決算月の変更のため）、黒潮本陣を運営す
1年間の経営状況の報告が行われました。

(株)SEAプロジェクト

～運営は町からの指定管理料に依存～

道の駅なかとさ

純売上高	2692万円
売上原価	347万円
売上総利益	2345万円
販売費・一般管理費	2070万円
営業利益	275万円

【主な収入】

●テナント管理収入	249万円
●店舗売上	759万円
●町の指定管理料	925万円

【主な支出】

●販売員給与	936万円
●水道光熱費	171万円
●管理諸費	206万円

鰹乃國水産

純売上高	428万円
売上原価	302万円
売上総利益	126万円
販売費・一般管理費	473万円
営業損失	347万円

【主な収入】

●店舗売上	428万円
-------	-------

【主な支出】

●販売員給与	169万円
●水道光熱費	90万円
●備品消耗品費	53万円

道の駅の収支は黒字となっているが、町からの指定管理料によるところが大きい。鰹乃國水産は赤字。



(株)SEAプロジェクトが運営する「道の駅なかとさ」

町出資法人の

(株) 地域振興公社

～収入減により500万円を超える赤字～

地方自治法により、町から2分の1以上の出資やを報告しなければならないとされています。

この規定により6月定例会の初日、町長から道のが平成30年10月1日から平成31年3月31日までの6る(株)地域振興公社（町出資100株）が平成30年度の

黒潮本陣・工房

純売上高	2億1923万円
売上原価	5608万円
売上総利益	1億6315万円
販売費・一般管理費	1億6911万円
営業損失	596万円
営業外収益等	78万円
純損失	518万円
法人税・住民税・事業税	18万円
当期純損失	536万円

【主な収入】

● 宿泊料	1億4030万円
● 会食売上料	1786万円
● レストラン売上	816万円
● 温泉	1541万円
● 黒潮工房	3192万円

【主な支出】

● 人件費	7932万円
● 福利厚生費	1603万円
● 運営管理費	7369万円

収入で前年度比3699万円のマイナス。宿泊料、会食、レストラン、温泉、黒潮工房ともいずれも前年度を下回っている。支出は、人件費・福利厚生費・運営管理費など、全て前年度より削減しているものの、結果的には500万円を超える赤字となった。



(株)地域振興公社が運営する「黒潮本陣」

私は、賛成・反対しました。

《 6 月定例会の主な議案と議員の賛否 》

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

審議した議案等	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可否
専決処分の承認（町税条例の一部改正） ※地方税法の改正に対応するためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算（第9号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ77億6707万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ298万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ10億7575万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ5762万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度介護保険特別会計補正予算（第3号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ12億6953万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）） ※決算額を見込み歳入歳出それぞれ1億2394万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
高幡西部特別養護老人ホーム組合規約の変更協議 ※規約に組合解散の規定を加えるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町職員の退職管理に関する条例 ※上位法令の改正に対応するために制定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例改正 ※中学校部活動指導員の規定を加えるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
森林環境譲与税基金条例 ※上位法令の施行に対応するため制定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易宿泊施設の設置管理条例改正 ※四万十源流の里の本館宿泊料とバンガロー料金の上限額を改定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小中学校設置条例改正 ※矢井賀小学校を廃校とするもの（出席議員の2/3以上の賛成が必要な特別多数議決＜議長も採決に加わる＞）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小中学校施設使用条例改正 ※矢井賀小学校の廃校に伴う改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
体育館設置管理条例改正 ※矢井賀小学校の廃校に伴う改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
放課後児童健全育成事業の設備・運営基準条例改正 ※改元に伴う改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
高幡消防組合中土佐分署建設工事請負契約 ※ミタニ建設工業株式会社と8億2280万円で契約するもの（P2参照）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
消防ポンプ自動車購入契約 ※株式会社藤島と2462万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29人乗り公用車購入契約 ※有限会社中土佐スズキ販売と699万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度一般会計補正予算（第1号） ※久礼保育所建設工事費7億6364万円、上ノ加江公民館建設工事費2億704万円など10億6021万円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ96億2707万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度簡易水道事業会計補正予算（第1号） ※水道事業費用7万円を増額し、水道事業費用総額を1億3862万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
名誉町民の選定 ※洋画家の奥谷博氏の選定（P2参照）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
川崎地区、東側斜面の崩壊対策施設建設に関する陳情 ※P3参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

一般質問

～町政を問う～

6月6日、7日の2日間、一般質問が行われ、9人の議員が新庁舎完成後の大野見庁舎の在り方、美術館移転問題など町の諸問題を取り上げました。



佐竹 敏彦 ……P8

- 早期に美術館移転を
- 地域活動に森林環境譲与税を



岡 伊三男 ……P13

- 定置網の復活を目指せ
- 不法投棄の防止対策を



下元 道夫 ……P9

- かつお祭継続との声
- 関係人口増へ取り組みを



山下 世仁子 ……P14

- 美術館の移転先は
- 保育所入所申請は



山本 建生 ……P10

- 準要保護世帯へのサポートを
- 認知症・引きこもりは



福永 守恭 ……P15

- 新庁舎完成後、大野見庁舎は支所か
- 遊休施設の活用は



窪田 和教 ……P11

- 役場組織再編では丁寧な説明で納得を得られるように
- ハラスメントの根絶を



高橋 雄造 ……P16

- 機構改革で大野見庁舎は
- 大野見地区の歯科医療の環境改善を



本井 康介 ……P12

- 久礼港改修要望のその後は
- 防犯灯管理で中土佐地区と大野見地区で違い

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。



佐竹敏彦

早期に美術館移転を

基本構想案を年内に

問 美術は人に感動をもたらす、感性を磨き、人を豊かにする。美術の豊かさは地域の豊かさであり、町にとって大きな財産だ。宝である美術館の収蔵品は約700点で、時価数億円といわれている。南海トラフ地震が（今後30年以内に）発生する可能

性は80%だ。建設から収納するまで5年かかる。早期に移転すべきだ。美術館に多大な貢献をされた町田菊一さんのご子息なども懸念している。

岡村教育長 高台移転は遅くなるほど南海トラフ地震被害のリスクが高まる。教育委員会としても可能な限り早期実現を望んでいる。

新美術館のコンセプト等の基本構想案を年内に取りまとめたい。



津波浸水域に建つ美術館

地域活動に 森林環境譲与税を

放置林の整備に充てる

問 地域に残り、地域を支える者たちで、竹林の伐採や荒れた山の整備など地域環境保全を集落が集団で行う事業に森林環境譲与税が充当できないか。地域コミュニティの活性化にもなる。

西田農林課長 森林環境譲与税は森林環境税が財源で、その使途は市町村が行う森林整備に充てることになっている。放置植林の整備に活用すべきとされ、既存事業の上乗せ活用はいけなさとされている。町としては、放置

森林の特定、所有者等の情報整備などを予定している。

提案には町も同じ考えを持っている。個人等が行う植林の間伐や作業道開設を行うには緊急間伐総合整備事業がある。それに地域団体が行う雑草木の刈り払い等の里山保全活動やシイタケ原木等の採取、竹林整備等が対象の森林山村多面的機能発揮対策交付金がある。

地域コミュニティの育成を

問 地域で要望をまとめ、地域で課題解決に取り組むことは、地域コミュニティ、民主主義のありようとしてもいい。常会長に、地域課題や要望を聞き、必要に応じて予算化して、地域コミュニティの育成を図るのはどうか。

下元企画課長 常会によっては常会長のなり手がいない。引き受けてもらえないこともある。当番制や輪番制で常会長の役が



伐採木搬出のための作業道作り（大野見吉野）

回っているところもある。そのため、常会長に一律に地域課題の取りまとめを願うのは難しい。できるところから取り組んでいくことも考えられる。

その他の質問

- ▼公文書の元号使用
- ▼道の駅の凍結中の温泉活用
- ▼カツオ文化の日本遺産登録申請の状況とカツオマイスター認定制度
- ▼空き家と町営住宅
- ▼介護保険

かつお祭継続との声

応援があつて可能に

問「かつお祭をやめたらいかん」という強い声を聞く。祭りが果たしてきた情報発信や人づくりの役割は大きいが。

問今後の取り組みは、幅広い意見を聞き、30回を総括し次に進む。そして、積極的な人づくりの必要性があると思うが。

竹邑水産商工課長 30年続ける中、県内屈指のイベントに育ってきた。PR効果は抜群で、中土佐のファンをつくった。カツオの水揚げも県内で群を抜いている。(祭りは)十分功績があり、役割を果たしている。



見事な手さばきでかつおをさばく地元の魚屋さん

第1回かつお祭の様子を伝える町広報紙
(上：平成2年6月17日)
と今年の第30回かつお祭
(下：令和元年5月19日)

池田町長 実行委員会で議論し、続けてまいりたい。

池田町長 かつお祭は、一部署でできるようなものではない。様々な応援で初めてできる。(カツオの)切り手の問題、食品衛生上の問題をクリアしていかなければならない。

問「30回で終了という考えはない」と理解してよいか。

関係人口増へ取り組みを

町を感じてもらう計画を

問深くこの町に関心を持ち、移住はしないけれども、町に來たりする人たちが、移住定住未滿、観光交流以上というのが関係人口だ。

中土佐町の取り組みは。

下元企画課長 人口減少の時代に都市部にいながら、中土佐町と関わりを持ちたいと考え、行動に移す人材を掘り起こすことが、重要と考えている。

問具体的にどう進めているのか。東京と中土佐町をつなぐスタッフ、そして、地元の受け入れのスタッフをどうつくっていくのか。

地元の方に実際関わっていただき、(町を)感じ取ってもらう計画を進めたい。

地産地消と外商は

問地産外商マネージャーが就任して3年7カ月になる。地産地消と外商の取り組みは。

竹邑水産商工課長 地産地消はこれまで1488万円の売り上げになる。地産外商の商談はやっていない。



関係人口の拡大の役割を果たしていたが現在は開催されていない関東中土佐ふるさと会 (平成14年6月22日)



下元 道夫





山本 建生

準要保護世帯への サポートを

これからの課題として

問 準要保護世帯の就学援助費の受給者率は県内でも非常に高いと思う。久礼・上ノ加江・大野見で格差がある。どう分析しているか。

準要保護

生活保護を受けるまでではないが、経済的に困窮している状態。



少年野球チーム「久礼ジュニアーズ」の練習風景（上）
と上ノ加江小学校の授業風景（下）
（準要保護世帯とは関係ありません）

今橋教育次長 上ノ加江と大野見は生徒数が少なく、分母が小さい中で準要保護率が高くなっている。ひとり親家庭の多さなどが就学援助率を押し上げていると考えている。

子どもの貧困は非常に見えにくいが増え続けていると認識している。保

育・小学校・中学校・教育関係者がアンテナを張り早期に発見することが重要と考えている。

問 クラブをしているかどうか貧困の関係がいわゆる中学校のクラブ活動活性化につなげていく小学校段階でのサポートはしているか。

今橋教育次長 鯉乃國スポーツクラブという事業の中で成人も含めて財政的支援を行っている。

問 準要保護の中でクラブ活動への助成はないがこれからの課題として考えていただきたい。

支援員は久礼小学校に4人、久礼中学校に2人いる。他の学校にも配置してもらえないか。

岡村教育長 必要性がないわけではないが、生徒数が少ないため今の教員で対応できるので置いていない。

上ノ加江は子どもが少ないが

問 人口からすると上ノ加江・矢井賀が多いのに、それより少ない大野見の方が子どもが多い。どう分析しているか。

地域振興の在り方として考えていかななくてはならないと思うが。

岡村教育長 人口と子どもの数は比例していない。子育て世代の就労の問題があると思う。働く場がないと子育て世代の親が定着できない。子育て世代が多いことが原因と考えている。

認知症・引きこもりは

認知症 社協に委託 引きこもり 未就労者調査で

問 中土佐町の介護保険料は県内でもトップクラスだ。予防の取り組みは重要と思う。認知症は。また、引きこもり対策は。

山本健康福祉課長 認知症事業は、社会福祉協議会に委託して行っているが、地域包括支援センターも連携して事業を推進している。

町内の引きこもりの調査はしていないが、未就労者調査を行っている。



認知症カフェで指導するクリニック土佐久礼の小谷先生
（写真はあったかふれあいセンター「寄り家」提供）



窪田和教

役場組織再編

丁寧な説明で納得を

大野見で行政懇談会

問 新庁舎建設に合わせ、大野見庁舎は支所にして現在の3課体制から1課にする役場組織の再編案が示されている。2015年の説明会でも地域が寂れていく危機感に満ちた発言があった。行政報

問 地域の産業、住民福祉などの観点からの役場組織の再編であるのが本筋だ。大野見支所の業務の

池田町長 正職員4人と大野見をしっかりと把握した嘱託員を2人配置して大野見振興局といったものを設けていく。

告で大野見地区で出された意見に触れ「要望に応えるよう準備することを約束する」と発言している。どのような対策を立てているか。



役場組織再編でサービス低下が心配されている大野見庁舎

振分けでは、窓口業務・住民自治・農林部門・公共土木部門などで、職員数は現在と同じだが業務は増える。果たしてこれで良いか。

池田町長 大野見に特化した行政懇談会を開く計画がある。こういった機能を残し、どういう権限を付与していくかなど、大野見で自己完結できる形

現在示されている再編案で進めるにしても丁寧な説明と納得を得る対応が必要ではないか。

にしたいと思うし、職員の中でも議論が必要だ。
問 (再編計画が) 4年前に示され、住民の中でも議論されている。庁舎機能に合わせて政策提起も含めて、大野見の住民との議論が必要では。
池田町長 地域の皆さんのお気持ちに心を寄せ、真摯に対応していきたい。



職員が生き生きと仕事ができる環境に (中土佐庁舎町民環境課)

問 男女雇用機会均等法で、雇用主はセクハラ等の防止義務措置の責任を負っている。セクハラやパワハラに対応した相談窓口や周知・啓発をしているか。そうした事例が起きたときに対応する組織はあるか。

職場環境の健全化維持

ハラスメントの根絶を

三本副町長 窓口はできていますが、国等の指導で今後検討しなければいけない部分は多い。十分対応できるかはこれからだ。

問 厚生労働省のパワハラ対策マニュアルには、トップが職場からハラスメントを無くすということを明確に示すことだとしている。職員が誇りをもって仕事ができる環境づくりへの思いは。

池田町長 あらゆるハラスメントは論外だ。長として、職員の健康管理・職場環境の健全な維持に努める。



本井 康介

久礼港改修要望のその後は

防潮堤かさ上げ・新設 津波に効果なし

問 久礼港の改修で、平成26年に県土木に対し要望を出しているが進捗は。

鍋嶋建設課長 防潮堤の耐震補強は、漁民センター

から大坂谷川に至る区間で一部を残し完了している。防潮扉の自動化は、箇所数も多く、集約化や動力化の検討をしていきたいということだ。新港の耐震補強岸壁の整備は、本年度の予算をもって完了する予定と聞いている。防潮堤のかさ上げや新設は、県が津波に対するシミュレーションを行ったが、あまり効果が得られないという結果が出ている。現時点では整備は大変難しいと聞いている。

双名島の防潮堤は、上部工や消波ブロックに欠損が確認されており、今後優先順位を勘案し、老朽化対策を検討することだ。

問 (防潮堤が) 一部完成だが、県の対応は。

鍋嶋建設課長 現在一時休止中だ。今後、地元の協議を踏まえた上で、対策が必要と判断した場合、再着手に向け検討を開始することだ。



新元町付近で工事が止まった防潮堤工事

防犯灯管理 中土佐・大野見地区で違い

現状踏まえ慎重に検討

問 防犯灯設置の要望があつたときの要否の判断はどのようにしているか。

置している。

問 大野見地区は、維持管理を含め、地元負担が発生したとき補助(半額)している。旧中土佐とは違うがなぜか。

平田総務課長 街路灯等設置要綱基準に沿って判断している。予算には限りがあるので、現地に担当が赴いて確認しながら設

平田総務課長 大野見地区は、合併前、電気料などの経費は地区が全額負担し、そのうち半分を村が補助金として負担していた。近年、地区の世帯数の減少など、地区の運営が難しくなってきたり、現状も踏まえ、慎重に検討していく。

その他の質問

- ▼地産外商
- ▼日の川団地整備事業(PFI方式)



暗路照らす防犯灯

定置網の復活を目指せ

漁業振興に取り組む

問県は、定置網の復活を目指して上ノ加江・矢井賀沖を調査し、操業可能と判断した。沿岸漁業の存続が危ぶまれているが、現状を打開するのに町がPFIを導入して事業を行っては。

という命題には取り組んでいく。

問町の事業とすることで、過疎債が充当できるので

は。交付税に算入される元利償還金の7割を除いた償還に、定置網の収入を充てる方法ではないか。

平田総務課長 今後はどう

いう形で事業を進めるかによって、検討の余地はあるが、直接的に町がインフラの部分に充当することは現状では難しい。

竹邑水産商工課長 PFI

は、公共施設等の設計・建設・維持管理などに民間の資金とノウハウを活用し、効率的・効果的な（公共サービスの）提供を図るという考えに基づき、漁業振興を図っていく。



岡 伊三男



昭和51年4月5日、上ノ加江大敷網に入ったブリ（中土佐の今昔より）

不法投棄の防止対策を

監視パトロールを強化

問町道上ノ加江押岡線に他自治体の袋に入ったごみが不法投棄されている。不法投棄が絶えないが、監視カメラを設置するなどの対策は。

多田町民環境課長 須崎警

察署・須崎保健所と連携し、当時者を特定して厳重に対応した事例がある。監視カメラの設置は検討する。監視パトロールを強化し不法投棄減少に取り組む。

問町有地や私有地への不法投棄があるが、対策は。

平田総務課長 特定できれ

ば、投棄者に処理をしていただく。特定できない場合は各機関と連携を図り、行政が処理する。

問町営住宅の敷地に車や自転車が放置されているところがある。また廃棄物の処理ができてない住

宅もあるが。

下元企画課長 確認ができ

たものは前所有者に撤去を依頼している。

町営住宅の管理は入居者にしてもらっている。高齢者で管理が難しい場合は柔軟に対応する。



他自治体のごみ袋に入れ町道に不法投棄された「ごみ」



山下世仁子

美術館の移転先は

基本構想策定委員会で

クラウドファンディング
インターネット等を経
由して、不特定多数の
人からの資金調達。

問 移転場所（の候補地）は大野見と黒潮本陣敷地など2〜3カ所と聞く。その後の進展は。
予算は4億円と聞いているが金額に変更は。クラウドファンディング利用の考えはあるか問う。

今橋教育次長 移転先は新美術館基本構想策定委員会を設置し、美術館の大



貴重な作品が数多く展示されている美術館

枠となるコンセプトなど、基本的な構想を年内にまとめしていく。
4億円は、希望する面積から出た仮の金額で、この金額ありきではない。財源は有利な起債などをベースに考える。行政のプロジェクトへの寄付は、ガバメントクラウドファンディングの研究なども考えている。

ガバメントクラウドファンディング
自治体が行うクラウドファンディング。

問 美術鑑賞だけではなく観光も視野に交流人口の拡大を図ってみては。

今橋教育次長 貴重な観光資源として捉えている。関係人口も含めて美術館

の取り組みとして考えている。

黒潮本陣との連携も可能だ。町の一つの核として滞在時間の延長や交流人口・関係人口の増加も可能と考える。

相乗効果が町の魅力アップにつながるかと考え、策定委員会の中でよりベストな場所を提案する。

問 他市町村もうらやまほど充実した作品内容だ。絶対残すべきでは。

池田町長 現在の美術館は空調面、何より津波浸水区域にあり若干問題がある。策定委員会での答申をもとに移転を進めたい。

問 保育所入所の申請には、就業中の証明が必要と聞くが内容は。「確実に入所の保障がない限り就活は無理」との声にどう対応するのか。

保育所入所申請は

求職活動中でも可能

今橋教育次長 児童福祉法の規定により、保育に欠ける理由として就労証明書がある。内容は「就労開始年月日」「契約期間の有無」「就労形態職種」「一日の就労時間」「一週間の就労日数」となっている。求職活動中であれば就労予定申立書を提出すれば、求職活動中でも入所申し込み受付は行っている。

問 保育料無償化により給食費が有償になる。「無償にしてほしい」との声があるが。

今橋教育次長 副食のおかずの部分は利用料の一部に組み込まれている。給食の費用、夏までには結論を出したい。



元気にブランコで遊ぶ子どもたち
（大野見保育所）



福永 守 恭

大野見庁舎は支所か

大野見地区の 振興のための組織を置く

問 大野見庁舎を廃止すると、大野見支所という名称になるのか。課を設置するのか。

池田町長 大野見地区を振興させていくための組織を置き、分かりやすい名称にする。



新庁舎完成後の機能が心配されている大野見庁舎

問 トップは課長クラスかどうか。どれくらいの権限を与えるのか。

池田町長 総合支所的な役割もある程度持たせないといけない。しつ

かりとした職員にポストを与え、仕事ができるような部署にしたい。住民のお声も頂き、令和3年度のスタートに向けてしっかりと準備を進める。

遊休施設の活用は

現庁舎跡利用計画なし

問 新庁舎へ移転後の現庁舎・町民交流会館・久礼保育所などや、町内にあ

る遊休施設の中で、「笹場小学校」「双名保育所」「大北保育所」「上ノ加江

保育所」の活用方法は。

平田総務課長 現庁舎は耐震性がないので解体せざるを得ない。解体後の土地利用の計画はできてない。

笹場小学校は利活用に向け、笹場地区と協議を行っている。地区より提出のあった要望書に即して協議を進めていく。

双名保育所は老朽化しており、本定例会へ解体工事の経費を予算計上している。当面は更地で管理をしていく。

大北保育所は大規模災害時、国・県のプッシュ型の物的支援を受け入れ可能な施設整備を計画している。

プッシュ型支援

要請を待たず、国県が避難所避難者を中心に必要不可欠と見込まれる物資を被災地に緊急輸送するもの。

池田町長 町民交流会館や文化館は、そのまま残したい。

今橋教育次長 現在の久礼

保育所は、健康福祉課と教育委員会が連携して子どもセンター設置の方向で協議している。

上ノ加江保育所は施設の老朽化や浸水区域にあるため、活用方法は現時点で確定していない。

現庁舎借地料280万円

問 現庁舎の借地料を年間280万円程度支払って



施設利用が課題の役場周辺の公共施設

その他の質問

- ▼大野見地区公民館設置
- ▼学校教育

平田総務課長 地主とも協議しているが、返すということにはならない。

いる。更地にすれば地主に返すことは可能か。



高橋雄造

機構改革で大野見庁舎は

権限持った課長・専門職を

問 住民サービスの向上と業務の効率を目的に課の統廃合を含めた役場組織の再編が行われる。大野見庁舎に関し、住民の意見をどのようにくみ上げたか。

下元企画課長 支所化にはなるが、相応の権限を持った課長、専門分野にたけた職員を配置する。行政懇談会を開催し意見を再度伺う。

池田町長 いろいろな形で議論しながら、地域の住民に不便を感じさせない手だてを講じていく。



多くの職員が配置されている大野見庁舎

大野見地区の 歯科医療の環境改善を

修繕が必要な箇所を精査

問 大野見の歯科診療所は車を使用できない人も利用している。床板の老朽やトイレの水洗機能の故障など、劣化した箇所が散見される。住民の健康福祉のため真剣に考えていただきたい。

山本健康福祉課長 町の施設であり、修繕が必要な箇所は精査し、検討を続けていきたい。

災害時の事業継続計画は

問 本町の企業による事業継続計画（BCP）の現状は。

事業継続計画（BCP）
災害時に備え企業等が
作る重要事業を継続する
ための計画。

平田総務課長 策定事業者

数は、建設関係と福祉関係の4業者のみだ。今後啓発の必要性があると思われる。



施設や器具が老朽化した大野見歯科診療所での治療

その他の質問

▼道路整備促進期成
同盟会高知県地方
協議会

委員会活動報告

6月定例会の初日、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会 庁舎移転等事業実施後も 財政の是正基準超えず 町財政・町有地を調査

総務課から町の財政指標の説明を受けた。一般会計の平成28年度から令和9年度までの財政見通しでは、現在は健全な財政状況で推移している。しかし、実質公債比率は平成29年（5・9割）か



総務課の担当者から財政指数の説明が行われた総務常任委員会の所管事務調査（5月9日）

ら徐々に上昇し、令和7年にはピークになり14・8割になる。「多少差異があっても早期是正措置基準の18割を超えない見込み」と説明があった。ただ、財政調整基金残高の減少や、大規模災害の発生などを考慮して慎重な財政運営に努めるよう求めた。

早期是正措置基準
実質公債費比率が18割を超えると公債費負担適正化計画を作成しなければならぬ。
財政健全化法では自助努力で財政健全化を行う早期健全化基準は25割、国に關与される再生基準が35割。同法では、その他の比率もあるが、本町では他の数値はマイナスとなっているため説明を省略。

3カ所の宅地合計662平方メートルを適正価格で売却したとの報告を受けた。迅速な取り組みと成果を、総務委員会は大いに評価する。

産業建設常任委員会

小規模商店で聞き取り

商業・道の駅を調査

上ノ加江地区と大野見地区の商店を訪ねた。聞き取り調査では、人口減少と少子高齢化の波で顧客が減少している。対策として、「地区内の配達」「電話での注文取り」「希望を聞いての販売」など工夫しているが、「現在の商売はいつやめてもいい」という声も聞いた。

道の駅は、平成30年度は7月の豪雨・台風の影響もあり落ち込んだが、

7月から3月31日までの（テナントを含めた）売上高は2億8000万円であった。課題は平日の集客だ。観光バス会社などへの営業を近隣県でも行っている。

駅長業務として、サービスや商品の充実も合わせ、町内業者との連携や集客のためのイベント開催などに委員から意見が出された。



上ノ加江（上）と大野見地区（下）で商業の現状の聞き取りをする産業建設常任委員（5月10日）

図書館整備で報告書を

図書館を調査

4月26日、新図書館整備構想に関する委員会としての報告書の協議をした。

単なる常任委員会報告ではなく議会議決を経た

重みのある報告書としての位置付けをする。

12月定例会をめどに常任委員会の案を議決し、議会としての報告書を提出する方向で進める。9

月定例会の時期に原案を全員協議会で報告する。今後の検討事項として、既存の施設を前提に図書館の「基本コンセプト」「開設時間」「職員の処遇改善」「蔵書のデータベース化」「図書機能の充実」「図書館運営協議会の設置」などを審議する。



図書室が入る町立文化館と、その図書室

久礼保育所建設に 7億6364万円

●平成30年度決算見込み

一般会計、特別会計ともに黒字決算となる見込みだ。ただ、国民健康保険特別会計は、一般会計から5892万円を繰り入れた。簡易水道事業会計は、収益的収入及び支出（日常業務に係る収支）は476万円の黒字、資本的収入及び支出（主に建設改良等の収支）は4706万円の赤字となる見込みだ。

●SEAプロジェクト事業

「道の駅なかとさ」は開業以来23カ月で60万人が訪れた。

●公共施設移転等事業

新庁舎建設は土地造成中だ。高幡消防組合中土佐分署は、着工準備を進めている。（P 2 参照）久礼保育所は、安全対策費などの増により、予算が7億6364万円となった。

●地震防災対策事業

自主防災連絡協議会が、京都府福知山市と神戸市を視察した。地域住民が独自で避難マップを作成しており、非常に参考となった。

池田町長の行政報告

●かつお祭

第30回かつお祭は、悪天候ながら1万2000人の来客者を迎えた。今後議論を行い、方向性を見いだしていきたい。

●カツオ文化日本遺産登録申請

残念ながら認定には至らなかった。今後、分析し対応していく。

●高幡西部特別養護老人ホーム組合の解散

中土佐町と四万十町が共同で設立している組合が運営する窪川荘と四万十荘は、入所者の大半が四万十町の方であり、本年度末をもって、組合を解散する予定である。

●町立美術館開館30周年記念式典と名誉町民の選定

町立美術館は今年で30周年を迎え、記念式典を行う。

本町の芸術、文化の振興に対する功績をたたえ、奥谷博氏を名誉町民に選定したい。（P 2 参照）



6月定例会での池田町長



今号では、高橋議員が平成30年9月定例会で質問した「骨髓バンク事業」の質問を追跡しました。

【平成30年9月定例会】

問 骨髓バンク事業は、法律に基づく公的事业だ。町として活動を開始する考えはないか。

山本健康福祉課長 骨髓バンクによる骨髓移植を希望している患者のため、町としても県や日本赤十字社などと連携を図る。また、ドナー募集のための普及啓発や広報などを中心に行っていきたい。

問 骨髓提供者に対する休業補償が必要と思われるが、助成する考えは。

池田町長 県下の市町村で、2割が休業補償を行っている。本町も取り組みを進めるため協議している。



町民交流会館前で行われた献血時に開催された骨髓バンクドナー登録会（7月29日）

その後の対応

県の医療政策課と連携、平成31年4月から助成制度が施行できるよう補助金の交付要領等を整えた。

新しい施設ではなく空き教室等の利用を！ 路線バスを通園・通学に！

声

平成29年度に実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★津波の関係とはいえ建物ばかり。何とかお金を使わずに、小中の一貫教育とか幼稚園を小学校の空き教室で使用するとか、笹場小学校を老人施設にするとかにできないか。

★町内バスを通園・通学に利用するとか、だれも乗っていない町内バス利用方法を考えてください。

現在、津波対策として、役場や消防、そして、久礼保育所の移転工事が進められています。施設の新社には、町民の皆さんからはもちろん、議員からも既存の施設を利用できないのかという「声」もあります。施設の移転に伴って新たに遊休施設ができることになり、議員も活用をどうするかという質問（本号P15参照）も行っていますが、具体的な活用方法が決まっていない施設もあるのが現状です。旧笹場小学校の活用は、地元と町が協議しています。議会も小中一貫校や遊休施設を利用した図書館などの視察も行っています。議会の「声」や視察・調査も参考に、施設整備では、お金を使わない方法も含めて提言していきたいと考えています。

町内を走る路線バスは「空気を運んでいる」という「声」をよく耳にします。議員も通学等に利用できないかという質問（「議会だより」No.50 P10参照）も行っています。この時、教育長は「バス活用は有効だ」と思う。運行ダイヤの関係もあるが、学校や保護者の要望を含め検討する」と答えています。議会としても町民の皆さんの利便性を第一に考え、コミュニティバスも含め、町内を運行するバスの在り方を提言していきたいと考えています。



中城重則議長

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成31年4月1日～令和元年6月30日)》

日 付 ・ 会 議 等		議 員 名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則
4月8日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
4月9日	議員行政視察研修会（長野県）		○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
4月10日			○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
4月11日			○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
4月15日	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月17日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
4月26日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月9日	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月10日	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
5月17日	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月28日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月3日	6月定例会＜1日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月6日	6月定例会＜2日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月7日	6月定例会＜3日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月11日	6月定例会＜4日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月25日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 /・・・所属委員等でない

議員がどこへでも出張する 議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。
ご希望がある場合は、お問い合わせください。

議会の様子を スマホやパソコンで

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。生中継だけでなく平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。



※データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合は、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

Q 議員は何をしゅうが？

《議長の主な活動状況（平成31年4月1日～令和元年6月30日）》

4月

- 14日 大野見北地区振興会通常総会（旧大野見北小ホール）
- 17日 須崎地区地域安全協会監査（中土佐庁舎）

5月

- 13日 道路整備期成同盟会高知県地方協議会通常総会
道路整備促進高知県大会（高知市／城西館）
- 19日 第30回かつお祭【正・副議長】（町内）
- 20日 天川海道期成同盟会監査（中土佐庁舎）
令和元年須崎地区地域安全協会総会（須崎市／須崎警察署）
- 23日 高岡郡高原畜産センター監査（中土佐庁舎）
- 24日 第39回高幡町村議会議長会定期総会
（三原村／農業構造改善センター）
- 26日 久礼小学校運動会（久礼小学校）
- 28日 令和元年度町村議会議長・副議長研修会【正・副議長】
（東京都／国際フォーラム）
- 30日 高岡郡高原畜産センター通常総会
（津野町／高知県農協 津野山営農経済センター）
- 31日 第51回高知県警察官友の会総会（高知市／高知商工会館）



中城議長・福永副議長も参加した
第30回かつお祭の鏡開き（5月19日）



東京国際フォーラムで開催された
町村議長・副議長研修会（5月28日）

6月

- 5日 美術館開館30周年記念式典（町民交流会館）
- 19日 高岡郡高原畜産センターとの打ち合わせ（中土佐庁舎）
高知県町村議会議長会理事会（高知市／自治会館）
- 20日 令和元年度県道窪川中土佐線・窪川船戸線改良促進期成同盟会
総会
令和元年度黒潮スカイライン高幡地区建設促進期成同盟会総会
（津野町／本庁舎）
- 21日 令和元年度警察官友の会須崎支部 役員会・総会（須崎市／喜楽）
- 25日 移動土木情報交換会
- 26日 高知県町村議会議長会臨時総会（高知市／自治会館）



美術館開館30周年記念式典で
あいさつする中城議長（6月5日）

会議録をご覧 いただけます

インターネット中継映像や音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。会議録は議会事務局、または中土佐町ホームページから議会のページに進むとご覧いただけます。

議会は、どなたでも 傍聴できます。

9月定例会日程(予定)

- 9月10日(火) 行政報告
委員長報告
議案の提案理由説明ほか
- 9月17日(火) 一般質問
- 9月18日(水) 一般質問
- 9月20日(金) 議案等の採決ほか

議会に対する ご意見などを 募集しています

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

お問い合わせなどはこちらへ

中土佐町議会事務局 〒789-1301 中土佐町久礼6602-2
TEL52-2410 FAX52-4850 E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp



今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る移住者たち」を取り上げます。

今回は、小矢井賀にある「ライダーズイン中土佐」の管理人、下野博也さん(61)、明美さん(61)ご夫婦です。

「このロケーション、施設、すべてが気に入っている。リピーターさんが増えるようにがんばりたい」。バイク好きの2人は沖繩を除く全国を走っています。どこにも負けない施設と言います。指定管理者になりたい。中土佐町の友人に相談。地区の人たちの協力も得て、2年前に大阪から移住してきました。まずやったことは、周辺の草刈りや茂った雑木を切る

こと。海が見えるようになり、「海辺のライダーズイン」の面目を取り戻しました。内装業だった腕を生かし、修繕も手掛けました。

20〜30人が座れる薪ストーブのある談話スペースもあり、バイクを愛する仲間としての会話も、この施設の魅力のひとつ。

「鈴鹿8時間耐久ロードレース」に合わせ50ccのバイク1台で施設内を安全に走るイベントや、年末のカウントダウンイベントなど多彩な取り組みをしています。

2人は言います。

「県内や地元のライダーさんと知り合いになればうれしい。地域の行事に呼んでくれるなど、地元の人に良くしてもらっており、ずっとここに住みたい」

ライダーズイン
オートバイ旅行者向けの宿泊施設。県内5カ所に設置されている。



下野さんが代表を務めるH.I.R.O.倶楽部が指定管理者のライダーズイン中土佐



海を眺めながらライダーと語らう下野さん

下野博也さんから

ライダーさんが、ここにバイクを置いて黒潮本陣や道の駅、大正町市場に出かけられる巡回バスなどがあればよいと思う。



県内沿岸の漁獲量の約3割は定置網漁だ。県は廃止された定置網漁の復活を目指し、一定量の水揚げが期待できる上ノ加江・矢井賀沖を調査し、操業可能と判断した。設備導入の支援事業も整えた。事業開始6年目で単年度黒字、11年目で累積赤字の解消が見込めるとしている。

中土佐地区は、以前は定置網に安定して魚が入り、活気がある時期もあった。しかし、久礼・上ノ加江・矢井賀の定置網漁は年々衰退し、現在は廃業している。高齢者化が進み、漁業で生活を立てるのは年々厳しさを増している。後継者がいない中で、沿岸漁業の存続が危ぶまれているが、定置網漁が再開できれば、地域への経済効果も大きい。

この県の事業に、町独自のPFI的な事業を導入すれば、参入業者を呼び込むことも可能ではないか。漁業振興の起爆剤として定置網の復活を期待している。

中土佐町議会議員 岡 伊三男

中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	窪田 和教
委員	山本 建生
委員	高橋 雄造